

令和五年 七宝会

# 初雁公演

はつかりこうえん

かなわぬ恋

天にあらば願はくは  
比翼の鳥とならん  
地にあらば願はくは  
連理の枝とならん

● 昼の部

舞囃子「松虫」 辰巳 和磨

能「鉄輪」 辰巳大二郎

● 夜の部

狂言「鏡男」 善竹 隆司

能「楊貴妃」 山内 崇生

あだし男を取って行かんと  
臥したる枕に立ち寄り見れば

最も古典にして、  
最もアヴァンギャルドな芸能  
能楽をみなさまに

七宝会  
宝生流

◆ 十月十三日(金)

昼の部 十五時開演 夜の部 十八時開演

◆ 枚方市総合文化芸術センター 本館

関西医大小ホール

令和五年 七宝会 初雁公演

はっかりこうえん

かなわぬ恋

七宝会

【解説】

舞囃子「松 虫」まつむし
津の国阿倍野で酒を売る男は、客の一人から昔この原で一人の友が松虫の鳴く音にひかれ草の中に入ってしまったまま帰らず、もう一人の友もあとを追って自害した話を聞く。酒を売るが回向すると、かの亡霊が現れ友を語るのだった。

舞囃子では後半の男の霊の舞になります。松虫が現在のスズムシに当たるとはよく知られていますが「リン、リン」という鳴きこえとともに、松虫の「まつ」が「人を待つ」を連想させています。

◇能 「鉄 輪」 かなわ
貴船神社へと丑刻詣でをする、一人の女。夫に捨てられた彼女は、鬼と変じて夫の命を奪うべく、毎夜祈願を重ねていた。ある夜、参詣した彼女は神託を得る。三つの脚に火を灯した鉄輪「五徳」を頭に載せるなどして、怒る心を持つなら、鬼になれるとの託宣であった。

一方、新妻を迎えていた彼女の元夫。最近夢見の悪い彼は、夢占いのため、陰陽師・安倍晴明のもとを訪れる。晴明は、彼は今夜にも前妻の呪いによって絶命すると告げ、呪いの矛先を向け換えるべく人形を作って祈禱をはじめる。そこへ、鬼女となった前妻の怨念が現れた。恨み言を述べつつ夫と新妻の人形を責め苛む鬼女。しかしそのとき、祭壇の幣帛上に護法の神々が出現し、却って鬼女を責め立てた。衰弱した鬼女は、再度の襲来を予告しつつ、姿を消すのであった。

◇狂 言「鏡 男」 かがみおとこ
訴訟事があった長らく都に滞在していた男。やつと帰国の運びとなり、故郷へ残してきた妻へ、何か土産になる物はないかと街道を歩く。通りがかりの道具屋で見慣れぬ物を目にした男は、「女性ならば誰しもが持っているべき物」という道具屋の言葉に、その用途も知らずに買い求める。初めて手にした「鏡」に映ったものは…

◇能 「楊貴妃」 ようきひ
愛する楊貴妃を失い、悲しみに暮れていた玄宗皇帝は、彼女の魂の行方を捜すべく、道教の術を使う方士を派遣する。方士が東海上の仙境・蓬莱島に至ると、そこには孤独な日々を送る楊貴妃の魂があった。玄宗の言葉や伝え、貴妃と会った証拠の品を賜りたいと言おうと、自らの髪飾りを与える彼女。しかし方士は、それでは確かな証拠にならないと言いつつ、生前に玄宗と言いつつ二人で誓った七夕の夜の思い出を明かす。貴妃は彼を呼び返すと、かつて自分が玄宗の前で舞った舞を見せようと言う。玄宗は慕う心中を吐露し、思い出の舞を舞う貴妃。やがて、帰ってゆく方士を見送りつつ、貴妃はひとり嘆き沈むのだった。

◆令和五年 七宝会年間会員について

- 年会費 20,000円
「8枚の指定券付き」 ※1回の公演に3席までとさせていただきます。
（先行予約でお申し込みください）
発売・予約開始は、会員は60日前（一般は50日前より）。
年度途中からでも会員に申し込みいただけます。

※防疫対策、席数制限など感染症対策をしております。

お問合せ・チケットお申し込み先

宝生流 七宝会

〒572-0009

大阪府寝屋川市末広町11-8 辰巳方

TEL 072-831-3206

FAX 072-832-5115

会場のご案内



枚方市総合文化芸術センター 本館
関西医大 小ホール
大阪府枚方市新町2-1-60

京阪電車「枚方市」駅から徒歩約5分

○昼の部 十五時開演

里人の亡霊 辰巳 和磨 大鼓山本 寿弥 笛 赤井 要佑

小鼓成田 達志 笛 赤井 要佑

鬼 女辰巳大二郎 大鼓山本 寿弥 太鼓上田 慎也

安倍晴明 広谷 和夫 小鼓成田 達志 笛 貞光 義明

下京辺りの男 喜多 雅人

貴船神社の社人 善竹 隆司

●夜の部 十八時開演

シ テ善竹 隆司 アド小西 玲央

楊貴妃の霊 山内 崇生 大鼓山本 哲也

方 士福王 知登 小鼓成田 奏 笛 赤井 要佑

常世国の者 善竹 隆平

◆日時 令和五年 十月十三日(金)

昼の部 十五時開演 夜の部 十八時開演

◆会場 枚方市総合文化芸術センター 本館 関西医大 小ホール

〒573-1191 大阪府枚方市新町2-1-60

◆料金 <昼の部、夜の部それぞれ> 指定席 4,000円 自由席 3,000円

<昼夜通し> 指定席 6,000円 自由席 4,000円

●割引になるほか、昼夜通しのお客様と会員様には昼夜間の時間に「能楽師とともに様々な体験」をしていただけることとなります。(事前申込制先着順)

◆スマホde解説

「衆我財団」様の支援事業として、お客様ご自身のスマホをお使いいただき、ご自身のイヤホンで解説をお聴きいただけるサービス提供が始まりました。ご希望の方はスマホとイヤホンをご持参のうえ、ご体験くださいませ。